

令和2年度第8回和田区地域協議会 次 第

日時：令和3年2月2日（火）午後6時30分から

会場：ラーバンセンター 第4研修室

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 令和3年度地域活動支援事業の募集要項及び審査・採択のルールについて

(2) 和田区の地域課題について

4 事務連絡

5 閉 会

[上越市地域活動支援事業 令和3年度実施分 募集要項] (案)

～ 身近な地域から はじまる はじめる よりよいまちづくり ～

私たちの**和田区**をもっとよくする 「まちづくり活動」の提案を募集します!!

- ★ 身近な地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動について支援を行います。
- ★ 私たちの**和田区**をもっと住みよく、もっと元気にするために、この事業を活用し、まちづくり活動に取り組んでみませんか。
- ★ 令和3年度に実施する事業の提案を、以下のとおり募集します。

■募集期間

令和3年4月1日(木)から
4月28日(水)まで【必着】

土日や閉庁後など業務時間外に受付を希望される方は、予めご相談ください。

■実施方法

～事業の内容～

- ・ 団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付します。

～事業を提案できる方～

- ・ 5人以上で構成し、市内で活動する法人又は団体（政治や宗教活動を目的とする法人等及び営利法人を除く。）

■支援内容

事業の目的を達成するために直接必要な経費を補助します。

《ここがポイント！1》

- ・ 事業に要する経費のうち、次に掲げる経費は補助の対象外となります。
 - ① 提案や実績報告などに要する事務的な経費（提出資料のコピー代や郵送代等）
 - ② 提案団体等の運営（人件費、事務所の家賃等）に要する経費
 - ③ 提案団体の人が飲食を行う経費（弁当代やイベント終了後に行う懇談会の食事代等。ただし、作業に参加した人へのお茶代・菓子代は対象とします。）
 - ④ 会議の時のお茶代・菓子代
 - ⑤ 金券（商品券、サービス券等）などの発行に係る経費
（個人の私的な資産形成に当たるものと捉えられるため、対象外とします。）
 - ⑥ その他対象とすることが適当でないと市長が認めた経費
- ・ 令和4年3月31日までに事業を完了（経費の支払いを含む。）するとともに、南部まちづくりセンターに実績報告書を提出してください。

※地域活動支援事業は、補助金の使い道を市民の皆さんに考えていただき、活動することを通して、市民の皆さんが自治や地域づくりを考えていただく機会でもあります。

※各地域自治区の地域協議会では、この趣旨を踏まえて、地域の課題や地域の目指すべき姿を議論して中で、それぞれの想いを採択の方針や事業の審査に反映することとしています。

■採択方針と審査基準

(1) 採択方針

ここに示す事業に該当する事業は、一定の範囲で優先して補助採択を受けることができます。

和田区の採択方針

豊かな自然に囲まれた和田区は、北陸新幹線の開業により大きく変化しつつあります。ここで生活する新旧の住民が、連帯感を持ち明るく快適な生活を送るために、また、次代を担う子どもたちが、誇りと愛着を感じられるような魅力と活力ある地域を創造するために、和田区の地域活動資金を活用し、住民が自ら主体的に取り組む事業のうち、先駆的でチャレンジ精神に富んだ次に掲げる事業を優先して採択します。

《優先して採択する事業》

○新幹線開業に伴うまちづくり

新幹線開業に伴う意識高揚を図る事業／上越市の玄関口としての情報を発信する事業／空き家活用・居住促進対策事業／研究組織の立ち上げ事業 等

○環境(自然・生活)の保全・活用

持続可能な環境・社会を目指す事業／地域ぐるみ田園景観づくり事業／関川・矢代川の水辺環境整備事業 等

○住民自治・交流の促進

住民まちづくり組織の充実事業／新旧住民間の交流促進・連帯意識向上事業 等

○農・工・商業の活性化

農・工・商の後継者育成確保事業／農・工・商の地域的産業を振興活性化させる事業 等

○少子高齢化対策

少子化対策事業／**高齢者**世帯支援体制づくり事業 等

○安全・安心対策

子どもたちの安全・安心対策事業／防災体制・住民防災ネットワーク形成事業／通学路歩道整備事業 等

○教育・文化・スポーツの振興

伝統行事・文化交流促進事業／地理的・歴史的背景から独自の物語を創作する事業／芸術文化育成事業 等

※上記以外の事業については、制度の趣旨や全体のバランスなどを考慮し採択します。

《ここがポイント！2》

「身近な地域での課題の解決や活力の向上」のために行う事業であれば、種類や分野は問わず対象となります。

※ ただし、次のような事業は対象とはなりません。

- ・ 物品の購入や施設等の整備・修繕のみを目的とした、活動を伴わない事業
- ・ 政治活動・宗教活動を目的とする事業
- ・ 公序良俗に反する事業
- ・ 国、県、市の他の補助制度と重複して助成を受けようとする事業
- ・ 市に大規模な施設の設置や開発を求めるために行う事業（事業計画の策定や推進のための会議等）
- ・ 行政サービスの提供や公共施設の整備等を市に求める事業

(2) 審査基準

地域協議会では提案者からの事業説明を受け、下記の（ア）、（イ）、（ウ）の審査を行い、その結果をもとに、補助事業としての採否を決定します。

（ア）**基本審査**：提案事業が「地域活動支援事業の目的と合致しているか」を確認します。

審査の結果、「適合しない」とする委員が過半数となった場合は、不採択となります。

（イ）**優先採択審査**：提案事業が「和田区の採択方針」の「優先して採択する事業」に該当するかを審査します。この結果、「該当しない」とする委員が過半数となった場合は、優先採択事業ではない「その他の事業」となり、優先採択事業より審査の順位が下位になります。

（ウ）**審査項目に基づく審査**：下表の審査の視点に基づき、委員が審査項目ごとに提案事業を採点（配点は各項目1～5点）します。その後、委員の採点結果を集計し、事業ごとの得点を算出します。

審査項目	配点	審査の視点
① 公益性	5点	<ul style="list-style-type: none"> 提案事業の成果が広く地域に還元されるものか。 補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるか。 全市的な方向性と合致しているか。 提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
② 必要性	5点	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情や住民要望に対応したものか。 地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか。 緊急性の高い提案事業であるか。 ほかの方法で代替できないものであるか。 補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。
③ 実現性	5点	<ul style="list-style-type: none"> 目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか。 関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか。 資金調達の規模や時期に無理はないか。
④ 参加性	5点	<ul style="list-style-type: none"> 提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。
⑤ 発展性	5点	<ul style="list-style-type: none"> 新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか。 事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか。 提案団体に、信頼性や将来性はあるか。

《ここがポイント！3》

- 地域協議会では、提案者による事業説明を踏まえて審査を行います。
- 提案者による事業説明は、事業内容やそのねらいなどについて、短時間で説明（プレゼンテーション）していただきます。
- 地域協議会の審査では、（ア）～（ウ）の審査を踏まえ、最終的に順位を付け、総合的に判断が行われます。

■応募方法

所定の**事業提案書**に必要事項を記入し、**説明資料（団体の規約、見積書、図面など）**と合わせ、南部まちづくりセンターに**持参もしくは郵送（消印有効）**してください。

《ここがポイント！4》

- 提案する場合は、「地域活動支援事業に関するQ&A」を必ずお読みいただき、詳細についてご確認ください。
- 補助金の交付決定前であっても、事業提案書の提出日以降に着手する事業であれば対象とします。ただし、審査の結果、**事業が不採択となる場合や補助金希望額どおりとならない場合があります**ので、あらかじめご了承ください。
- 市有地・市の施設を利用する事業を提案するときは、**南部まちづくりセンターへ事前にご相談ください。**
- 自己所有以外の土地等を利用する事業を提案するときは、**土地所有者等と事前の相談を行ってください。**（採択後は、所有者の承諾書等を提出していただく必要があります。）
- 応募に必要な様式及びQ&Aは、南部まちづくりセンターの窓口と和田地区公民館地域協議会情報コーナーに備えてあります。また、市のホームページから様式の電子データをダウンロードすることができます。

■令和3年度の補助金額

- ★ 事業ごとの補助金額は、地域自治区に配分された予算の範囲内で地域自治区ごとに定めます。なお、和田区における補助額の下限は5万円、上限は和田区の予算の範囲内です。

《和田区の予算 ●●●万円》

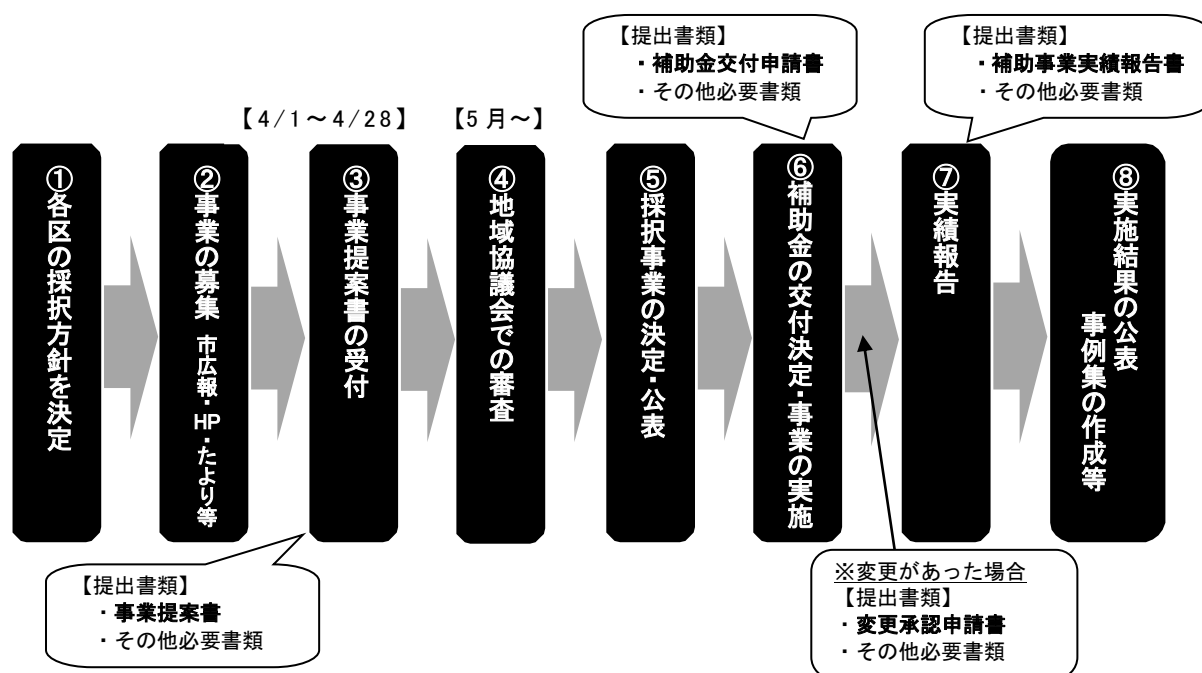
《ここがポイント！5》

- ・補助金の額は1,000円単位（1,000円未満の端数は切り捨て）とします。また、提案された事業の審査の結果、不採択となり補助金の交付が行われない場合や、補助金希望額どおりとならない場合があります。

■事業の紹介・公表

- ★ 提案事業や採択事業は、市民の皆さんにその内容を広くお知らせするため、報道機関に情報提供を行うほか、市のホームページなどで紹介します。
- ★ また、事業の実施結果について、事例集や地域協議会だよりでの公表を予定していますので、提案される場合は、あらかじめご了承ください。

■フロー図（地域活動支援事業の流れ）



ご提案をお考えの方は、
南部まちづくりセンターにご相談ください！！

和田区の担当事務所	
南部まちづくりセンター	
〒943-0892 寺町2丁目20-1(福祉交流プラザ内)	
TEL 025-522-8831	
—事業全体の問合せ先—	
 上越市 自治・市民環境部 自治・地域振興課 TEL 025-526-5111 (内線 1429)	



令和3年度 和田区地域活動支援事業 審査・採択の基本的なルールについて (案)

1. 審査の基本的なルール

(1) 提案事業の審査・採点者

- ①審査・採点者は、会長・副会長を含む全委員のうち、提案者による事業説明を受けた委員（当日の出席委員）のみとする。
- ②審査・採点者は、全ての提案事業について審査・採点を行う。
※委員が所属する団体等から提案された事業であっても、審査・採点者になることができる。

(2) 提案事業の通知

- ①事務局は、事業募集終了後速やかに、「提案概要一覧」を作成し、「事業提案書」、「審査・採点シート」とともに全委員に送付する。

(3) 委員による審査・採点の流れ

- ①委員は、送付された「事業提案書」を確認し、提案者による事業説明の際に質問する事項等をまとめる。（仮採点しておくことが望ましい）
- ②地域協議会を開催し、提案者による事業説明を行う。
- ③事業説明、質疑応答、審査・採点の時間配分は、提案件数により調整する。
- ④事業説明を受けた委員は、説明終了後、事業ごとに審査・採点を行う。
- ⑤審査・採点は、事業ごとに「審査・採点シート」を使用して行う。
- ⑥「審査・採点シート」は無記名とする。ただし、提出後に審査・採点に不備があった場合に事務局が確認できるよう、記号等を振る。
- ⑦基本審査は、「適合する・適合しない」の別を記入し、「適合しない」とした委員は、その理由を記載し、次の優先採択審査と共通審査は行わない。
- ⑧優先採択審査は、「該当する・該当しない」の別を記入する。
- ⑨共通審査は、審査項目ごとに1点から5点の間で採点し、点数を採点欄に記入する。
- ⑩記入後は「審査・採点シート」を事務局に提出する。
- ⑪審査・採点結果は、事務局に提出した時点で確定し、事後に疑義等が生じても修正は認めない。

(4) 提案事業の得点等の算出

- ①事務局は、事業ごとの審査・採点結果を集計する。
- ②全審査・採点者の共通審査の合計点を提案事業の得点とする。
- ③ただし、事故等により、事業ごとに審査・採点者数が異なる場合は、全審査・採点者の点数を単純平均したものを提案事業の得点とする。（単純平均した結果は、順位を判別できる範囲で少数点以下の端数処理を行う）

(5) 提案事業の順位の確定

- ①優先採択審査で審査・採点者の過半数が「該当しない」と判断した事業は、「その他の事業」とする。
- ②優先採択事業とその他の事業に区分し、それぞれ上記(4)で算出した得点の高い事業順に並べる。
- ③提案事業の順位は、得点に関わらず、優先採択事業をその他の事業よりも上位とする。
- ④事務局は、提案事業の順位確定後、速やかに「提案事業順位表」をまとめ、地域協議会に報告する。
- ⑤この結果をもって、提案事業の順位を確定し、以後順位の変更は行わない。

【参考】提案事業の順位の確定イメージ

順位	提案事業（分野）	基本審査	優先採択	得点
1	事業A（福祉）	○	○	100
2	事業B（イベント）	○	○	90
3	事業D（文化）	○	○	70
4	事業E（観光振興）	○	○	60
5	事業F（イベント）	○	○	50
6	事業C（イベント）	○	○	30
7	事業H（施設整備）	○	×	50
—	事業G（イベント）	×	—	出さない

2. 採択の基本的なルール

(1) 採択事業と補助金額の検討

- ①基本審査で審査・採点者の過半数が「適合しない」と判断した事業は、不採択とする。
- ②共通審査の得点が満点の半数に満たない事業は、不採択とする。

③採択事業と補助金額は、提案事業の順位が確定した後、上記不採択事業を除いて、和田区の予算に収まるよう委員間で協議する。

④上記不採択事業を除く提案事業の補助金希望額の合計が、和田区の予算を上回る場合は、補助金の配分方法について検討する。また、予算を下回る場合は、補助金希望額に対して満額補助を基本とするが、地域協議会で検討して減額することができる。

⑤採択の当落線上に複数の提案事業が同順位（同点）で並んでいる場合は、当該事業間で優劣をつけることができる。

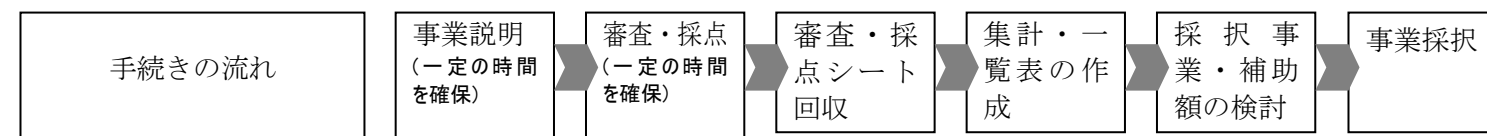
⑥補助金額の上限は和田区の予算の範囲内とし、下限は5万円とする。

(2) 採択事業と補助金額の決定

- ①地域協議会は、採択事業と補助金額の検討結果を、事務局を通じて市長に報告する。
- ②事務局は、採択事業と補助金額の決定後、速やかに結果を公表する。

<補足> 事業説明から事業採択までの流れ（イメージ）

提案件数により、事業説明時間・採点時間を検討する



【和田区】

地域活動支援事業 審査・採点シート（案）

1 採点対象

整理 No.	
事業名	
提案者	

2. 基本審査

※右の欄のいずれか一つに☑を入れてください。

地域活動支援事業の目的と合致しているか （地域の課題解決・活力向上に資するものか）	<input type="checkbox"/> 適合する（3. ～） <input type="checkbox"/> 適合しない（理由記載）
--	---

<p>【適合しない理由】 ※基本審査で「適合しない」とした委員は必ず記入してください。</p> <p>※該当するものに☑する。（複数可）</p> <p> <input type="checkbox"/> 地域の課題解決につながらない <input type="checkbox"/> 地域の活力向上につながらない <input type="checkbox"/> 自発的・主体的な地域活動ではない </p>	<p>※左記の「適合しない」と考える具体的な理由（簡潔に記載）</p>
---	-------------------------------------

3 優先採択・共通審査

（1）優先採択審査

※基本審査で「適合しない」と判断した委員は審査しないこと。

※右の欄のいずれか一つに☑を入れてください。

優先採択事業に該当しているか	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない
----------------	--

（2）共通審査基準

※採点は、1点から5点の5点満点です。（0点はナシ）

※基本審査で「適合しない」と判断した委員は採点しないこと。

審査項目	審査基準	メモ欄※	配点	採点欄
		良い 普通 悪い _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _		
①公益性	・事業の成果が広く地域に還元されるものか ・補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるか。 ・全市的な方向性と合致しているか ・提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	5	
②必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか ・地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか ・緊急性の高い提案事業であるか ・ほかの方法で代替できないものであるか ・補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	5	
③実現性	・目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか ・関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか ・資金調達の規模や時期に無理はないか	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	5	
④参加性	・提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか	_ _ _ _ _	5	
⑤発展性	・新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか ・事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか ・提案団体に、信頼性や将来性はあるか	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _	5	
合 計			25	

※メモ欄は採点の目安としてご自由にお使いください。

和田区地域協議会で取り組みたい地域課題一覧（令和2年12月1日までに委員から提出されたもの）（委員名簿順）

資料No. 4

番号	委員名	テーマ（分野）	地域課題	①取り組みたいと思う理由（現状、必要性などの面から意見をお書きください）	②地域協議会として具体的に何をするか（現状把握、他団体との意見交換の実施など）	③その他（自由記載）
1	金子 良一	上越妙高駅周辺の今後	上越妙高駅を中心としたまちづくり	駅周辺の歩道の花壇の管理がよくない。雑草が生い繁って、駅利用の方々の景観が悪い。イメージダウンにつながる。駅周辺にスーパーマーケット・デパート等を誘致することにより、和田区が住み良い地域になる。元コスガ跡地、元パチンコヤマシタの空き店舗等を活用したい。	上越市と協議できる場が設けられればありがたい。 和田区が発展するように動いてもらうことを市に要望する。 市で動けないことは協議会として活動していく。	別紙にも書いたとおりですが、かがやき停車を求めるなら、それにふさわしい駅周辺になるよう整備し、にぎやかに発展させて、市の中心となる地域にする方が得策と思えます。
2	草間 雄一	観光・農業・防災・安全・地域住民の連帯などから	上越妙高駅周りの活性化（利用客の増加） ・魅力ある地域（観光地、スポット作り） ・空き家を利用した民泊等、観光農地、農業	上越妙高駅利用客の増加による「かがやき」の停車	考え中。言うのは楽だが、行うは難しい。	
3	草間 雄一	観光・農業・防災・安全・地域住民の連帯などから	地域住民の連帯意識の向上 ・今までのイベント等の反省は		考え中。言うのは楽だが、行うは難しい。	
4	草間 雄一	観光・農業・防災・安全・地域住民の連帯などから	安心して住める街づくり（防災、防犯、交通安全の中で） ・通学路、観光地として、歩道の整備	安全安心な、街づくり	考え中。言うのは楽だが、行うは難しい。	
5	篠原 精子	地域の活性化（住民交流、駅周辺の賑わい）	和田区全体で出来る催しを行う。	他の町内との交流が、より地域を理解することにつながるのではないかと。	・大ケヤキ周辺のそうじを地域でする。 ・防災関連を地域で取り組む。	
6	清水 雅浩	見守り支援	高齢者のひとり暮らし世帯の見守り活動	仕事柄、何人かの高齢者の危険を見てきました。		
7	清水 雅浩	防犯	交差点、通学路に防犯カメラの設置	・事故防止 ・犯罪防止	危険箇所の把握	
8	平原 留美	地域活動支援事業	（地域の課題を共有・認識しているか） 地域活動支援事業を知っているか？	・地域の活動に必要なものは「人」「カネ」「モノ」で、それらが課題解決のために十分に”ない”ことを共有する必要があるのではないかと？ ・この事業を知っているかどうか？	地域協議会で具体的にこんなことをやって欲しいという意見を聞いてはどうか？（全てをやるということではなく）	地域活動支援事業を知らない地域の人が多いようなので、活動に手を挙げている団体が「この事業を知っている団体」となり、「知る人ぞ知る活動」になっていないか？
9	平原 留美	地域コミュニティの醸成	①地域と関わり方がわからない。 ②関わりやすくするにはどうしたらよいか？	・世代の交流がない。世代を超えた意見交換の場を設ける。 ・意見交換だと堅いので、想いを伝える場を設ける。	・どのような方法で実施するのかを検討する。 ・課題の解決方法を検討し、アクションする。	
10	横田 英昭	安心 安全	災害時 避難路の現状把握	・小学校へ避難する場合、避難路（通学路）に用水の冠水により、道路に水が上る箇所がある。 ・避難路（通学路）の外灯（防犯灯）は、適切に設置されているか。	現状把握は経験上、町内会、小学校が承知されていると思われますので、意見を伺う。	なんとなく不安な社会となり、地域のコミュニティに変化を感じます。災害時、数箇所ある避難所に自己判断で行動する。

和田区の地域課題に関する意見一覧（令和2年10月15日に班に分かれて意見交換したもの）

資料No. 4の参考資料

テーマ（案）	委員から出た意見（地域の課題だと思うこと）
地域コミュニティの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は玄関のチャイムを押せば出てきてもらえたが、今は人の気配があっても玄関のチャイムを押してもなかなか出てきてもらえない。電話してもでない。地域コミュニティの欠如というか、横の繋がりが少なくなっているのではないかと。関わり方がわからない。詐欺等から防衛する意識があるのか。もう少し地域として地域コミュニティの醸成を図っていくべきではないか。災害時の対応にも繋がる話だ。 ・地域の助け合いも大事。住民組織が公民館で活動しており、よいことだ。
地域の活性化 （住民交流の促進）	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内でいろいろな催し物をしているが、町内だけでなく横の繋がりも大事にして、町内と町内、和田区全体でできる催しを行ってはどうか。 ・地域活動支援事業を和田区全体の催しに活用するのも手である。
地域の活性化 （駅周辺の開発）	<ul style="list-style-type: none"> ・和田区地域資源として上越妙高駅が挙げられる。開業から5年経ち、開発が進んでいるところもあれば、なかなか進んでいないところもある。行政として今後、上越市の玄関口である上越妙高駅をどのような形で活用していくのか、そういった展望や市としての取組等について市から聞くなど、地域協議会が現状把握する機会を設けた方がよいのではないかと。 ・西口は開発されているが、東口は駐車場ばかりで寂しい。地権者はどうすればよいか分からない。行政が先頭に立ってほしい。
地域の活性化 （駅周辺の賑わい）	<ul style="list-style-type: none"> ・上越妙高駅付近で灯籠祭り、フリーマーケットなどを行ってはどうか。併せて、大ケヤキ、吹山遺跡、コスモス鑑賞などへ人を導くことができないか。 ・釜蓋遺跡の施設ができたため、現在、吹上遺跡は影が薄れ、当初考えていたよりも整備されていない。コスモスの活動も行っているが、人集めや整備するのが大変である。 ・新型コロナウイルスの影響で自由通路での農産物の販売も中止になっている。和田区は新幹線駅があり可能性がある。人を集めるために何かできればよいと思う。 ・上越妙高駅付近に正善寺工房の分店のようなものを出してほしい。
地域の活性化 （人口減少）	<ul style="list-style-type: none"> ・有田、春日あたりは新しい小学校ができたり、民間の保育園等もあり人口が増える。若い核家族はそこに家を建て、そこで教育を受けさせる。和田区出身の人も区外に出てしまい、そこに家を建てる。和田区にとって問題であり、そうなる理由を考える必要があると思う。 ・和田区は環境やインフラもよく、新幹線駅も近いが、若い人で区外に出る人も多い。上箱井のアーバンビレッジのようなものがないと子供の数を維持することが難しいだろう。
安全・安心なくらし	<ul style="list-style-type: none"> ・和田区の住民にとって安心・安全に過ごしていくにはどうしたらいいのか、ということ和田区地域協議会の中でもう少し深掘りをしてはどうか。話が出た小学校の通学路や交通事故の件など、しっかり安心・安全に暮らしていなければ、この地域の未来はないのではないかと。その土台があって、上越妙高駅前の交流人口の増加や賑わい創出など、そういったものに繋がっていくのではないかと。安心・安全、よりよい暮らしのためにどうしたらいいのか、行政も含め、現状等の報告も含めて1回話できればと思う。 ・小学校の通学路に、グリーンラインが引かれている場所とまだ引かれてない場所がある。和田小学校区、大和小学校区ともに交通量が年々増えている道があるため、通学路のグリーンラインの延長をお願いしたい。 ・中学生の自転車通学路である県道板倉線（県道上越高田インター線）の白線（車道外側線）と下板倉橋の欄干の間が狭く危険なので、当該間を目立つ色で塗る等してほしい。

テーマ（案）	委員から出た意見（地域の課題だと思うこと）
地域の環境整備 （空き家）	<ul style="list-style-type: none"> ・東口の交差点に空き家がある。どうしたらよいか。 ・パチンコ屋の空き店舗があり、どうしたらよいか。
地域の環境整備 （生き物）	<ul style="list-style-type: none"> ・夜にたぬき、いのしし等が多く出る。イノシシが出て電車が止まったこともある。駆除してよいのか、悪いのか分からないが、駆除できないのか。 ・スズメバチ、アメシロ等いろいろな害虫が出る。害虫支援の補助制度があるとよい。
地域の環境整備 （インフラ）	<ul style="list-style-type: none"> ・中箱井地内の上越妙高駅前通りにあるポプラ並木の管理や、落ち葉等の問題がある。また、ポプラ並木のところの草で見通しが悪く交通事故も起きている。管理等の見直しが必要ではないか。 ・駅前の歩道の草の管理がよくない。駅に降りた人の印象がよくないだろう。市の玄関である。 ・農作業の時期に田んぼで使っているトラクターのタイヤについた土が、上越妙高駅西口道路や上越大通りに落ちていることがある。トラクターなどが通れる回り道のようなものがあるといいのではないか。 ・釜蓋遺跡の所に花を植えるのは不可と聞いている。一面を花で彩れば景観的にもよい。別のところではヒマワリを植えており、取り扱いの違いを知りたい。
見守り支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者世帯が多いので、そういった人の見守り支援も考えた方がよいのではないか。例えば、高齢者の向かいの人が何かあれば対応してくれるなら安心。何か具体的な支援があるとよい。
買い物支援	<ul style="list-style-type: none"> ・近所にスーパーなど買い物をする場所がない。若い人たちは車で好きのところに行って買い物ができるが、高齢者はタクシーや自転車で買い物に行く。その時に転んだという話も聞くので、それらを踏まえて買い物をする場所が欲しい。なお、和田区では住民組織が買い物ツアーをやっている。
保育園、小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大和保育園や和田保育園の施設の老朽化について、市は「老朽化していることは承知しているが、改修する予定は今のところない」との話があった。なぜ、改修する予定がないのか。保育園、小学校の統廃合や民営化など、市の方針はどういったもので、どう考えているのか。その見解について市から話を聞きたい。
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点等に防犯カメラを設置すれば、万が一の事故だけでなく、犯罪防止等にも役立つのではないか。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の春休みや夏休みなどの長期の休みにあわせて、上越教育大学の学生に講師として来てもらい、大和小学校やこどもの家で無償の塾を開いたらどうか。家庭によっては塾に通えない子どももいる。
地域活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・これから先、地域活動支援事業がどうなるか分からないが、予算がなくなった場合、現在の採択事業は今度どうなるのか。